

新規学卒者の採用枠拡大と求人早期提出を 知事・労働局長・教育長が経済5団体に求人要請

秋田県雇用労働政策課



来年春に卒業する高校生を対象にした求人が、6月20日から受理開始となるのを前に、6月5日、寺田知事・神田労働局長・根岸教育長が経済5団体（秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、（社）秋田県経営者協会、（社）秋田経済同友会）に対して、新規学卒者の採用枠拡大と求人の早期提出を要請いたしました。

要請には、社会人代表として㈱トヨタレン

要請する寺田知事と神田労働局長

タリース秋田に勤務している福原圭介さん、県内就職を希望する金足農業高校3年佐藤春菜さんと、保護者の立場から秋田県高等学校PTA連合会菅原広二会長も同席しました。

始めに、知事・秋田労働局長が各団体の代表者に要請書を手渡しました。その中で、若い人材を採用し育てることは秋田県の経済活性化と、活力ある地域社会の形成のために重要であり、若者が一人でも多く県内に就職できるよう、採用枠の拡大と求人票の早期提出についてお願いするとともに、応募前職場見学の実施、非正社員から正社員への切り替えや、給与水準の向上、育児休業制度等の整備など労働条件の改善についても協力を求めました。

企業の皆様には、新規学卒者の採用枠拡大と求人票の早期提出、並びに非正社員の正社員化など魅力ある労働条件づくりに御理解、御協力をお願いいたします。



要請する高校生の佐藤さん



経済団体代表へ要請する寺田知事